

1 まちづくり懇談会 大井

日時：平成 29 年 12 月 5 日（木）午後 7 時～8 時半

場所：消防防災センター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■市長 大井の人口は平成 17 年に 1 万 3245 人、平成 28 年に 1 万 3076 人。微減。世帯はだんだん小さくなっている。1 世帯当たりでは平成 17 年 2.76 人、平成 28 年 2.51 人。平成 17 年を 100 としたとき、恵那市全体で 9.6%減、大井町は 1.2%減。大井町が一番減っていない。出生数は大井町で 130、122、141、119、112、135、111、138、126、115、119、95。ついに 100 を切った。これから先急激に減る可能性がある。26.9%減。恵那市全体からすると若干いい。

大井町の芸能フェスタがつい先日行われ私もお邪魔した。参加団体 12、出演者 218 人、来場者 800 人で、大変定着してきたと思う。子どもたちが頑張っていたのが印象的だった。

おーいカフェ。先ほど担当に教えてもらった。平成 29 年度スタートしすでに 5 回。0～5 歳児のママ、パパに来ていただいている。子育て中の親の交流会。

防犯パトロールには一生懸命取り組んでおられる。平成 20 年に内閣総理大臣賞を受賞。平成 17 年発足。29 団体 361 人が取り組んでいる。

東中学校の大規模改修をスタートした。29、30 年の 2 年で総事業費 5 億 6 千万円、30 年ぶりぐらいだ。子どもたちには迷惑をかけるが一生懸命やる。

恵那峡の再整備は平成 26 年から平成 30 年までの 5 年で 9 億 9 千万円の事業費。今年はさざなみ公園の工事、傘岩周辺の整備。来年が最終年になる。

中山道の整備。26～30 年。全体の概算事業費 2 億 7 千万円。すでに 26、27 年にポケットパークを作り案内看板を設置した。今年度からは道路の舗装をし直す。今年度中に完成予定。

道路舗装前に、水道管の更新をしている。29、30 年度で 8400 万円の事業費で予定している。ときどき通行止めになり迷惑をかけている。

ソフトでは中山道のれんコンテスト。皆さんで取り組まれている。今年は応募総数 340 点。ついこの間審査を締め切り 900 名に投票いただいたということだ。日曜日が表彰式。

中山道語り部の会。平成 5 年に結成し、中山道を案内していただいている。案内をする人、紹介をする人がいることで観光客によく理解していただけるしそれがリピートや次の人を呼んでくることにつながる。先駆的な取り組みだ。

広重美術館は、スポンサーを募集したら今年 10 月に 3 社、銀の森、木曽路物産、サラ

ダコスモの協力をいただき、金曜日は終日無料になった。金曜日の来館者が、昨年1日平均68人だったのが今年124人になった。スポンサーにも感謝するし、これで美術館が皆さんにとって身近になれば有り難い。

まちの中のゼミナール、まちゼミがこの秋スタートした。商店街の参加店舗17で、お店ごとにいろいろな紹介をしていただける。チラシが配られたと思う。68コマで11月1日から30日までだった。盛況だったと聞いている。

恵那駅。平成23年に1日平均6200人だったのが、6200、6400、6200、6400で、今は増えている。明知鉄道は平成23年に1日平均900人だったのが今880人。大井町内にあ
る一番大きな人の集まる場所ということになる。

リニアに関する検討。岡瀬沢、野尻、野畑が半地下、阿木川辺りは外に出る。岡瀬沢では平成24年から検討や協議をしていただいている。3区、13区でも対策委員会を作っている。7区、8区でも対策委員会ができている。3地区合同会議も、26～29年で11回の会議をしている。リニアは駅ができることによるプラスの効果もあるが、リニアが通る場所にはそれぞれの地域に大変な負担をかける。私どもも対策委員会の意見を聴いて、伝えるべきところはJR東海にお願いしていく。建設発生土の処分でも、ダンプが通る。その都度ちゃんと説明することを約束する。意見は私どもも承り、JR東海にも伝える。

5. 意見交換

■大井町2区関戸自治会・西尾 危機管理について私が感じていることとその対応すべき提案をする。

11月20日早朝から夜遅くまで、大井町3区、7区、13区で断水が発生した。大井町全世帯の1割強の600世帯だと思う。この断水を知ったのは7時前の告知放送だった。その後何も情報がなかったので回復したと思っていたら、昼前にまだ断水が続いており原因も分かっていないという情報を得たので、午後1時少し過ぎに3区区長とともに水道環境部に出向き、状況はどうなのかとただしたところ、地図上で3区の土ヶヶ根地区、13区の北関戸地区を中心に断水しているという説明を受けた。7区の断水は、驚いたことに、私が情報をつかんだのが夜8時で、情報源は、たまたま私が3区の給水所にいたところ7区の住民が給水を受けに来たので、初めて7区の野畑2と野畑5の一部が断水しているという情報をつかんだ。これはだめということで、その場から水道環境部に、7区の代表者と連絡を取ってすぐに7区に給水車の設置を要請した。

私はこの間3つの問題を感じた。1つは、情報機器に関する認識が薄いということ。2つ目は、このような状態に対応する能力が非常に低いこと。3つ目は、このような状況の中で、情報の回数が非常に少ない、とともに、今回は内容も伴っていないということ。

そこで提案する。災害は、自然災害だけではない。食中毒、交通事故も災害だ。災害に

対してどう取り組むか、縦割り組織はどうしても限りがある。そこでお願いしたいのは、こういう場合は組織横断的な態勢づくりを早くして、一刻も早く起きている問題点を除去していただきたい。縦割り行政では限界があるので横断的な組織を作っていただき少しでも早く現状を改善していただきたい。

■市長 断水の件では大変ご迷惑をおかけし申し訳なかった。いろいろな事情が重なったようだ。

■副市長 当日朝、断水していたにもかかわらず、原因を突き止めたのは夜になってからだった。漏水すれば地上部に水が噴き出したりして原因が分かるだろうと思っていたが、実際にはその管に1mぐらい亀裂が入り水は地下に浸透して流れていっていた。原因の特定ができなかった。最終的に、漏水しているだろうという地域まで行ってようやく分かった。

市では3時頃全庁態勢を組んだ。それまでは水道課単独で処理していた。話は聞いていたが。あの地域で、あるビルでは1階は通水しているけど2階は出ないとか、ある地域では、特定の地域のそばには行っているけどある地域では行っていないという。分かりにくい事象だった。今回3時に各部長を集め、夜までかかりそうなので、職員を動員して給水タンクを用意して皆さんに給水することにした。が、西尾さんが言われるように、態勢づくりが少し遅かったことは反省している。今後も気をつけていきたい。

■西尾 原因があり発見が遅れたことについては私は何も言っていない。問題は、危機管理意識を高めていただきたいということ。2つ目は、もし何か起きたときには、横断的な組織を立ち上げていただきたいということ。3つ目は、情報は多く、地域住民に理解できるように流していきたいということ。

■副市長 分かった。以後気をつけてやる。

■北関戸・西尾 3つお願いと意見を述べる。「くらす」ということにかかわる。

1つ目は、東中学校の通学路。前に教育委員会にも話した。恵那高校の裏門から出て、東中学校の裏門から出たところ、恵那高校の石垣に沿って、19号から降りてくるところ。あの道路を通学路にしている。が、実に狭い。1mあるかないかのところを生徒が自転車に乗ったり歩いたりしている。しかも、横町川の橋を渡って信号に行く道で、橋が狭い。途中で畑があり竹のよとろが立ててある。先日教育委員会に話をして、その後、最近は取ってある。大変、危ない。以前、どこを通っていたか分からないが、コンビニの前を通っていたと思いますが、きっと車の出入りが多いということで変更したと思うが、変更したところが大変危ない。恵那市の宝である子どもがそんなところを通っているのは危険で苦になる。

2つ目。行在所の修理を今やっているが、大井町の宿場の景観が大事だ。行在所だけを直しても、景観の点では問題がある。古山さん、林さんと隣になっている。その3軒を表

通りだけ直すことでも景観が違ってくる。街並みということを考えてもらいたい。鶉沼では大変きれいに整備している。やれば鶉沼並みになると思う。私は行在所検討委員会の時、電線を埋めたいと言ったがだめということだった。できればやりたい。しょうじ川には昔橋があったが今はなくなった。橋は宿場にとって重要なものだと思う。それも分かるようにしてほしい。柘形の説明には標柱があり、大変良い。宿場を訪れるお客さんも良いと言っている。が、立っている位置がちょっと分からない。運営については今問題になっているが、中山道語り部の会を、1人なんだが、案内していて、大井宿に来て良かったと思われるようなもてなしをしたい。

それと、宿場にはたいてい資料館がある。大井宿にはない。中津川や大湫には立派なのがある。そんなに立派でなくてもいいので、行在所に資料の部屋ぐらい作って、中山道に関する資料もそこに置いて、地域の人も語り部の会の会員も勉強できるようにしてほしい。

3つ目は、中山道は宝の道と県も行っているが、榎ヶ根の追分が草ぼうぼうだ。発掘された時は素晴らしい公園になっていた。案内をしたら皆さんびっくりしていた。先日さわやかウォーキングで案内したときには、前から来ている人が、なぜこんなふうになっているのかと聞いた。伊勢神宮の遥拝所がありお礼様もあそこで迎えたところだ。中山道にはそんなところはほかにない。それが位置も分からないようになっている。石がどこかへ行ってしまっている。昔灯籠が3基あったのはよそへ行っているので復元したい。地権者との間に問題があるとも聞く。早急に検討してほしい。

■市長 通学路については現場を早速見て考える。

中山道の行在所は整備計画を含め今話が停まっている。改めて皆さんと話す場を設け整備について考える。市がやるというわけではなく、地域、地元の意向を踏まえながらになる。

中山道は、岐阜に17宿あり、県も力を入れてきた。瑞浪でもずいぶん整備されているし中津川も街並みが整ってきた。各市町がレベルアップしてきた中で恵那市は取り残されているという印象がある。そこも含め、大井の皆様と検討する場を設けたい。

■7 区区長 水道の件。朝から晩まで地元で水道課の人に何回も行った。水が出ないから、年寄りのいるところに、自治会と連携して早く持って行ってあげなさいと。言っても恵那市はやらない。風呂にも入れない。夜の飯も炊けない。そういう苦情がうちにあった。市の職員は何をしたのか。それが人命救助なのか。そういうことを区長として聞いて何ができるか。危機管理がなっていない。もう少し市長、副市長が。市議員もいるのにどうしてもっとそういうところに応援に行かないのか。災害があったら年寄りを第一に考えないといけない。7時8時までやっていた。風呂に行けないなら恵那市で券を発行したりすればいい。給水しても若い人は行けるけど年寄りには行けない。

リニア。まちづくりや道路を作る気があるのか。7区の道路は現在も救急車も消防車も

入れない。道路には予算がないと言う。住民はそこでどういきいきするのか。まちづくりというのは、全体が良くなって暮らしが良くなることを考えるのが市長ではないのか。何が安全で何が安心なのか、リニアに対して。はっきり市民に言ってほしい。リニアの通る横の人はみんながんで死ぬ。安心安全なら市長が行って住んでほしい。そういうことも発表しない。市議もいろいろな話を聞いて地元で1回でも説明したか。7区には650人いる。何も聞いてないから言えない。データは出ている。放射線を浴びてみんながんで死んで死ぬことは事実だ。

今後災害があった場合にどういう対応をするか。区長に市民から電話が入ってもできないから。うちらが年寄りに水を汲んで持っていくわけにいかない。恵那市の水道工事の方の応援がどこかにあったのか。要請を頼んだけど出てくれなかった。恵那市には応援をしないということをみんな言っている。それだけ危機管理が悪いということだ。説明してほしい。

■市長 水道事故に関しては改めてお詫び申し上げます。ご迷惑をかけたことをお詫びする。原因の特定に時間がかかったことは確かだが、西尾さん、高橋さんが言われたように、全庁的に危機管理で最初に動けなかったことが本当の反省だ。次に生かしていかないといけないと思っている。

夕方になって全庁の全部長を呼んだが、もっと早く、お年寄り、一人暮らしの方も含めると、たとえば福祉の担当がそれぞれの組織を使ってやるとか、それ以外の、たとえば建設が建設事業者にお願いするというところまでは今回できなかった。今回の例を何とか次に生かしたい。今回起きたことを教訓にして次に生かすことを約束する。

リニアの道路について。野尻、野畑が道路が狭いので、救急車や消防車が入りにくいことは認識している。そこを完成し道路が入れば地域にとってリニアは迷惑施設に思えないと思う。その計画を担当が今している。どういう形でやるかは、市全体でもまだ合意に至っていない。少し時間をいただく。いくつかの条件、ここは通りやすいとか、技術的に難しいとか、いろいろなことをクリアしながら今線を引き続けている。残された時間が少ないので、本当に10年後にリニアが開通するとなればそれまでにやらないといけないことはたくさんある。やらなければいけないことをピックアップしてやるように指示している。が、地元に出せるには至っていない。

生活道路は、まず一つは、リニアが分断するので、JR東海が機能補償としてやるべき道路がある。それでも不足する部分が多分あるので、そこは市が県や国に相談しながら、財源のこともあるので、皆さんの力を借りてやっていく。やれるところは何とかやっていきたい。

■岡瀬沢リニア委員会会長・可知もとむ 「くらす」について。6月1日に恵那市リニア中央対策協議会第1回を、各部長、各団体の代表者及び各地域選出の30名で発足した。

第2回は11月9日に開催し、3項目について報告があった。その後、質疑応答で、岡瀬沢の防音防災フードについて質問があった。JR東海、岐阜県リニア誘致課、恵那市リニアまちづくり課、岡瀬沢リニア委員会との間で約3年間話をしてきた。が、いまだかつて問題の解決に至っていない。リニアの沿線、時速500kmで走る列車の騒音は、暮らしの中で一番の問題になる。子々孫々まで騒音問題が続く。まちづくりに対してもこの問題は欠かせないものだ。

今後恵那市リニア中央新幹線対策協議会が主体性をもってどのように地域に密着した対策を講じていくのか、またJR東海に対して今までにも要望を出されているようだが、今後どのような要望をするか。

あえて言えば、本来なら対策協議会が諸問題の協議を行った後、各地域委員会に下ろして図られ、それが本来の対策協議会が行うべき役割だと思うが、現在のところは、協議会ではなく報告会のような感じを受けている。

■市長 6月1日の第1回も11月の第2回も私は参加した。各地域で異なる課題を持っているので、情報交換しながら恵那市全体としての考え方を整理したいということでスタートした。協議会で主体的に動いていただければいいということ、特に岡瀬沢の防音防災フードについては、10月12日にJR東海に県知事と要望に行った折にも話した。まだJRははっきり結論を出していないが、地元から強い要望があることは話したしJRも認識している。いい結論が出るという期待はあるが楽観はしていない。JRと粘り強く交渉していく。

協議会のあり方については、ある程度皆さんの意思統一ができた上で次のステップに進むときには、主体的に動いていただくということもあると思う。今後の課題としたい。

■大井町野畑・三宅 今まで市長と語る会には欠かさないように出てきた。今84歳で、次の会に出られるか分からない。大勢の人がしゃべるには僕の割り当て時間は短いので文書にしてあるのであとで読んでほしい。

リニアが来ると明知鉄道も黒字になるのではということを目にした。そんな甘いものではないと思う。明知鉄道はもっと違ったやり方で乗る人を増やさないといけないと思う。明知鉄道は日本一のローカル線だと打ち上げ、どの駅で降りても日本一が見られるということにピーアールするのが良い。テレビを見てもローカル線が大変人気がある。乗り鉄とか何とか新しい名前で女性や写真家が押しかけている。日本中から明知鉄道に来てくれれば黒字になるのではないか。

■市長 意見の文書をいただいたのでゆっくり読ませていただく。

■大井町2区・磯村 私も文書にしてくれば良かった。恵那市がこれだけの土地や資源、景観、人材を生かし切れているのかということで提案する。たとえば子どもたちが待機児童の問題もどうなっているのか。もし打って出るには児童の医療費を無料にするという積

み重ね。市役所や市長にやってほしいのは、恵那市の中に膨大な人材がいる。NGOやNPOを含め。市長の今日の話は水平的な発想だと思う。水平プラス垂直で人材を組織する会議や場所を設けてほしい。たとえば、この町に将来も残っていききたいというような子どもたちを育てるには、恵那市、私のまちとかの作文や絵を小学校、中学校、高校に協力してもらおうとか。恵那市の困っているところ、資源をオープンして、借金も含めて、どこかの大学、高校と、恵那市を考えるような部活動や、大学ならゼミと協力してもらい、総合的に恵那市を考える。市長や恵那市の職員が抱えるのではなく、恵那市がこういうことで、人口が減っていることはこういうことで困っているということをもっと市民にオープンにして、市民からたくさん意見を求める。そうすれば、市長や職員が向こう側にいるという壁の中で考えるのではなく、私たちのまちをみんなが担うのだと。識字率の低いような外国ではない。恵那市の人材を生かし切れているかどうか疑問だ。

1週間ほど前に、なんとかマンデーとか、お金を儲ける話があり、観ていたら、天童市などはふるさと納税で、将棋の駒をあしらったペンダントを付けることにより、それは市の職員が提案されたものだが、同様に東白川では木材を使う企業を育てることをバックアップする、熱海市では景観や歴史的な財産があるので市職員がテレビや映画のロケ地をあっせんしたりしている。私が言いたいことは、企業の誘致もそうだが、恵那市にある景観や空き地、農業用地などを、もう少し提案型で組織できないかということだ。現在ある資源が生かし切れているのか。それと同じようにどこかから資源を持ってくるということ。市民で考えていきたい。恵那市職員も、図書館を10年見ていると、だんだんいろいろ発想が出ている。多くの子どもたちが一生懸命勉強している。人材があるのでできないことはない。市長も図書館を見てほしい。

■野畑 2・伊藤 7区の区長が道路のことを質問したので、私からは、移転する人にどう対応するか、また庭先をリニアが通って行くということ。側道を付けても4mぐらいしか離れていない。それでも一生そこに住み続けなければならないという現状が発生する。恵那市民は電磁波について、10mならいいとか100mならいいとか、どのように対応しているのか。

■市長 JRが環境アセスで出していることがベースになっている。JRが出していることに対して、分からないことがあれば、よく説明を聞こうということになる。一緒に説明を聞きたい。必要ならJRに要請する。それでも不安があると思うのでJRでできることはやってもらう。それでも市がやるべきということがあると思うので地域の皆さんと考えていきたい。

(オフレコで会場質問)

■市長 預かる。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 今日のご意見は持ち帰り担当を通じて検討する。答えが必要なものを返す。今日言えなかったことがあれば振興事務所に伝えてくれれば私に伝わる。いろいろな意見をいただきたい。

■司会 閉会する。

[閉 会]